

創立30周年記念特別講演 講師紹介

於 I会場 (5階大ホール)

本学会の創立30周年を記念する年次大会において、以下の講師の方々から特別講演を頂戴します。最前線の話題と未来への展望を聴講することで、成形加工の今後を知る機会としていただければ幸いです。

◆2018年6月20日 (水)

13:00～ 稲葉 善治 氏 (ファナック株式会社 代表取締役会長 兼 CEO)

題 目:『射出成形機の最新技術動向』



《ご略歴》

1948年生まれ。東京工業大学工学部機械工学科卒業後、同年いすゞ自動車(株)入社。同社にて生産技術に携わり、1983年ファナック(株)入社。1999年電動サーボ式射出成形機に関する研究で、東京大学工学博士号取得。2003年同社代表取締役社長就任、2016年より代表取締役会長兼CEOを務め、同社の経営を担う。また、日本ロボット工業会会長、日本工作機械工業会副会長として、業界の発展にも貢献している。

14:10～ 塩飽 俊雄 氏 (ポリプラスチックス株式会社 代表取締役社長)

題 目:『エンブラの過去、現在と未来』



《ご略歴》

1987年京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻修士課程修了、2005年同大学院工学研究科学位認定(博士号取得)。1987年4月ポリプラスチックス(株)に入社、研究センターへ配属される。途中3年間Hoechst AG(ドイツ)への派遣を挟み2007年研究開発センター所長に就任。2009年経営戦略本部LCP事業戦略室長、2011年執行役員経営戦略本部事業戦略統括室長、2015年取締役常務執行役員経営戦略本部長、2017年6月代表取締役社長就任。現在に至る。

15:20～ 上ノ山 智史 氏 (積水化学工業株式会社 取締役 専務執行役員)

題 目:『積水化学工業におけるプラスチック成形加工の展開と今後の方向性』



《ご略歴》

1980年東京大学工学系大学院工業化学専門課程修了後、積水化学工業(株)に入社。水無瀬研究所配属。以来一貫して研究開発および新規事業立ち上げに従事。1990年から5年間、総合開発室において全社研究開発・技術行政を担当。1999年に水無瀬研究所長、2009年に執行役員R&Dセンター所長就任。2011年常務執行役員、2014年専務執行役員を経て、2017年より全社研究開発管掌に就任、現在に至る。

◆2018年6月21日（木）

15：30～ 吉村 東彦 氏（日産自動車株式会社 常務執行役員）

題 目：『自動車におけるモノづくりの現状と将来』



《ご略歴》

1959年生まれ。神戸大学工学部機械工学科卒業後、日産自動車(株)入社。1998年に生産技術車両技術部主担、2005年に欧州日産自動車会社の出向管理職に着任。2009年に車両組立技術部長、2011年より追浜工場長を務め、2014年にアライアンスグローバルダイレクターに着任、第二車両生産技術VP(理事)として車両生産技術本部を担当。2015年に車両生産技術本部担当、アライアンスグローバルVP(理事)となり、2016年より常務執行役員を務めている。

16：40～ 山中 俊治 氏（東京大学 生産技術研究所 教授）

題 目：『デザインと加工技術の深い関わり、そして未来 プロトタイピングが示唆するAM革新の可能性』



《ご略歴》

1982年東京大学工学部卒業後、日産自動車を経て、1987年フリーのデザイナーとして独立。1994年リーディング・エッジ・デザインを設立。2008～12年慶應義塾大学教授、2013年より東京大学教授。デザイナーとして腕時計から鉄道車両に至る幅広い工業製品をデザインする一方、技術者としてロボティクスや通信技術に関わる。2004年毎日デザイン賞受賞、ドイツIF Good Design Award、グッドデザイン賞受賞多数。2010年「Tagtype Garage Kit」がニューヨーク近代美術館パーマネントコレクションに選定。近年は「美しい義足」や「生き物っぽいロボット」など、人との新しい関係を研究している。